

CO₂削減で環境対応

ユニニ ガス転換し3割減

北陸で、二酸化炭素（CO₂）の排出削減の対応を急ぐ企業が増えている。環境対策に加え、価格が上昇している重油の使用量を抑制し、コスト低減につなげたい考えだ。

梅田ひろ美社長は「企業市民の立場から、エネルギー分野でも環境保全の取り組みを進めたい」と話した。

導入した。処理槽を加熱するための燃料を重油などから、効率の良い都市ガスにエネルギー転換し、環境負荷の軽減につなげた。

新ボイラー設置

めっき加工のユニゾン（富山市）は4日までに、工場のめっき処理槽ラインで、CO₂排出量を従来比約3割削減できるシステムを

導入した。処理槽を加熱するための燃料を重油などから、効率の良い都市ガスにエネルギー転換し、環境負荷の軽減につなげた。

めっき加工では、処理槽に満たしためっき液に製品を入れ、表面加工を行う。めっき液を温める際には、槽内に張り巡らせた管に蒸気を通して

ユニゾンは約4千万円を掛け「蒸気貫流ボイラ」を設置。都市

ユニゾンは約4千万円を掛け「蒸気貫流ボイラ」を設置。都市

ユニゾンは約4千万円を掛け「蒸気貫流ボイラ」を設置。都市